

00	09	03	002	永年保存	起案	平成 年 月 日	決裁	平成 年 月 日
議長	副議長	事務局長	次長	主査	主査	担当	文書取扱主任	

第9回 市立病院建替計画等調査特別委員会 会議録

開催年月日		平成19年12月10日(月曜日)	開会：13時29分	閉会：14時00分
開催場所		第一委員会室		
出席委員		井上、山木、渡辺、酒井、本間、山口、荒木、堀、田村 議長、委員外議員～山腰、関藤、窪之内、水口	事務局	飯沼事務局長 寿崎主任主事
欠席委員		なし		
説明員		別紙のとおり		
議件		別紙のとおり		
議 事 の 概 要	1 調査事項について			
	次の事項について、所管から説明を受け、質疑を行い、すべて報告済みとした。			
	(1) 市民懇談会における要望項目の取りまとめについて			
	(2) 住宅・建築物耐震改修等事業補助金関連調査業務の実施について			
	2 その他について			
	なし			
	3 次回委員会の日程について			
	正副委員長に一任することとした。			
	上記記載のとおり相違ない。市立病院建替計画等調査特別委員長 井上正雄 ㊟			

平成19年12月 7 日

滝川市議会議長 中 田 翼 様

滝川市長 田 村 弘

市立病院建替計画等調査特別委員会への説明員の出席について

平成19年12月 6 日付け滝議第148号で通知のありました市立病院建替計画等調査特別委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

会計管理者兼理事	谷田部 —— 篤
市立病院事務部長	東 照 明
市立病院事務部事務課長	鈴木 靖夫
市立病院事務部事務課改築準備室長	菊 井 弘 志
市立病院事務部事務課改築準備室主幹	田中 武雄
市立病院事務部事務課改築準備室副主幹	配野 英夫
市立病院事務部事務課改築準備室主任主事	佐 藤 智 人
市立病院事務部事務課改築準備室主任主事	横田 和典

(総務部総務課総務グループ)

第9回 市立病院建替計画等調査特別委員会

H19.12.10(月)議会終了後
第 一 委 員 会 室

○開 会

○委員長挨拶(委員動静)

1. 調査事項について

- (1) 市民懇談会における要望項目の取りまとめについて (資料)
- (2) 住宅・建築物耐震改修等事業補助金関連調査業務の実施について (資料)

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

○閉 会

第9回 市立病院建替計画等調査特別委員会会議録

H19.12.10（月）議会終了後
第一委員会室

開 会 13:29

委員動静報告

委 員 長 全員出席。議長出席。委員外議員～山腰、関藤、窪之内、水口。空知新聞社の傍聴。

1 調査事項について

(1) 市民懇談会における要望項目の取りまとめについて

東 部 長 急遽、特別委員会の開催となったことにおわびするとともに開催いただきお礼を申し上げる。本日は2件の報告がある。1件については、前回の委員会での要望による報告である。菊井室長から報告させる。

菊井室長 (別紙資料に基づき説明する。)

121人の方に参加いただいた。財源について心配いただき多くの質問が出たが、要望に絞ると資料記載の7件である。

委 員 長 説明が終わった。質疑はあるか。

田 村 合計で121人ということだが、各地区に何人くらい来たのか。

菊井室長 江部乙改善センターは18人。東滝川地区転作研修センターは16人。東地区公民館は26人。幸町地区コミュニティセンターは17人。市役所大会議室は44人で計121人だった。

委 員 長 ほかに何かあるか。

渡 辺 前回申し上げたが、これに関連しての懇談会ではなく、まちづくり懇談会での電気室を1階から上の階へ移転を検討する回答はどうなったか。

東 部 長 この件については、本人のところへ行き説明させていただいた。中間に置くことによる振動問題、構造的な配置の問題などさまざまあり、設計業者とも検討したが、中間に設けることはふさわしくないと説明させていただいた。

委 員 長 ほかに何かあるか。

酒 井 要望的発言のみの抜粋の意味について若干疑問に思う。例えば7月18日の市役所大会議室では「医療機器の12億円は少ないぐらい。最新式のものを入れて前向きにやって欲しい。」という要望が出ている。これを見ても近隣から見ると深川市立病院が24億円。留萌市立病院が20億円。それから比べると少ないということだが、それにしても取り入れるべきものと取り入れなければならないものがあると思う。そういった面からこうした意見について、検討するとのことだが、これからもアンケートなどで集約すると思うが、取り入れ方という点ではどのように考えているのか伺う。

東 部 長 病院の建てかえについては、従前から患者中心の病院ということで、さまざまな意見を聞く機会、そしてまた要望について反映していきたいと思っている。ただ、一方では健全経営をどのように進めるのかも。新病院の果たすべき役割と機能を維持する部分の整合性をどう持たせるのか内部議論をしている。医療機器であれば基本的に使えるものは持っていく。移設に多額の費用がかかるもの、更新の時期を迎えるものは新たに購入するというのが基本的な考え方である。医療機器は総体のつかみで考えており、具体的な機器購入については所属の要望を集めているので、院内の運営委員会で今後集約をしていきたい。

酒 井 院内の運営委員会ということだが、私の要望も含めてこうした懇談会の結果に限らず市民から出された要望、懸念も含めてぜひ次回の委員会から公開してい

	ただきたいと思う。そうすることにより、各委員がその意見について共有することによりそれぞれの考えを述べることもできると思う。ぜひ検討していただきたい。
委員 長	他に質疑はあるか。（なし）（１）については報告済みとする。
東 部 長	（２）住宅・建築物耐震改修等事業補助金関連調査業務の実施について （別紙資料に基づき説明する。） 訂正がある。点２つ目の３行目、「８３％部分が補助基準となる。」を「８３％部分が補助対象となる。」に訂正願いたい。
委員 長 山 口	説明が終わった。質疑はあるか。 ① 耐震改修補助の数式はどうなるのか。耐震改修をした場合の工事費から１７％のにぎわい部分を引いた８３％の部分が補助対象になるということだが、数式を教えていただきたい。
東 部 長	② 中段に必要な資料添付ということで、１，５００万円かけることになるが、１月に行った耐震診断ではなかった資料は具体的に何か伺いたい。 ② 病院の各棟ごとに判断することになる。それぞれの棟ごとの耐震改修工事費やそれぞれのものをかさねなければならない。６月２１日の特別委員会で１つの棟について耐震診断結果を出したが、今回は各棟ごとに実数の耐震数値を調べなければ１平方メートル８万円の補助申請はできない。
委員 長 酒 井	① 各棟ごとの耐震診断結果によるので、８３％の数字も変わってくる。ほかに何かあるか。 ① 億を超える補助だが、ざっくりでいいのでどんなものか伺いたい。 ② 耐震診断で得られていない資料は先ほど山口委員の質問で出たが、前回の耐震診断のときの金額はいくらだったのか伺う。
東 部 長	① 補助金の額については、先ほど言ったように棟ごとに対象になるかならないか判断されることになる。確定する前に言うのはとらぬタヌキの皮算用となるが、面積的に見るとうまくいけば２億円を超えるぐらいになるという期待値を持っている。 ② 手元に資料がないが、金額的にはあまりかかっていないと思っている。１カ所の実測、残りは統計的手法である。確か３００から４００万円程度であったと思う。
委員 長 本 間	ほかに何かあるか。 山口委員の質問に関連するが、棟ごとに診断するということである。例えば全部建てかえることになるが、棟により必要性がない場合はどうなるのか。棟ごとに耐震改修に係る費用を算出していくことなのか理解不十分である。
東 部 長	先月末の突然の話である。自分でも理解できない部分がある。耐震改修であれば全体を本来すべきだと思う。例えば建築年が違うなどいろいろなことが想定されることになる。したがって、あくまでも基準としては各棟ごとに計算をし、その結果として補助に該当するかないかを棟ごとに決定する。耐震改修費も棟ごとに計算をする。トータルとして該当する棟について補助する。改修工事費としての上限額が８万円となっているので、２億円も８万円を当てはめて、面積を当てはめて最大限で２億を超えるぐらいもらえると期待している。
委員 長 堀	ほかに何かあるか。 調査に関する１，５００万円についての妥当性はどうか。もう少し安くてもいいような気がするがどうか。
東 部 長	今回の金額については、ノウハウのあるところでしっかり積算しなければなら

ない。実は建築住宅課に積算をお願いしたところである。市役所は最近耐震改修もありノウハウがある。妥当性がある金額と考えているが、最終的には競争の中で金額が決まると考えている。砂川市立病院も該当になるとのことで調査するようである。

委員長
窪之内委員外議員

ほかに何かあるか。

① 各棟の耐震ということだが、何棟になるのか。面積は1階の床面積なのか。
② 億単位の補助が見込めるという結果が出ているが、あくまでも安く済ませるという範囲にするのか、ここで余裕が出たから別に回すという考えはあるのか伺う。

東部長

③ 基準に合致し申請すれば補助が必ずもらえるということなのか伺う。

① 耐震改修事業補助制度は昭和56年以前の建物という制約がある。一番前面の内科外来がある棟は対象外である。小児科がある棟から対象になる。今道と詰めているが、対象になるのであれば最大限いただきたいと考えている。体育館もリハビリとして使用しており、該当になるということで詰めている。

②③ 補助金については、道も国と事前協議をしているようである。国の補助としては20年、21年の補助ということである。20年の部分については国の予算としては合致さえすれば補助は大丈夫であると道とは内々の承諾をいただいている。補助金部分を事業費に回す考えはない。将来健全経営を考えると起債を少しでも減らしたいと考えている。

委員長
山腰委員外議員

ほかに何かあるか。

① 調査費の1,500万円は補助があるのか。耐震検査をし、だめなので改修しなさいということで若干の補助金を出しますというのが、建てかえもいいという新制度ができた。それに申請するが国は何を考えているのか。初めからわかっていたら建てかえにゴーサインを出している状況で改修だと前の数字で終わっている。そのような情報は急遽だというのがかなり前からあったはずである。砂川も同じ状況であるようだが、確かに1,500万円投資して2億をもらえるようないい話はどこにもない。どうも不思議である。業者に儲けさせる国の施策のように感じるが、もらえるように努力していただきたい。

東部長

調査費にも補助がついていれば、これにこしたことはないが、残念ながら調査は単費となっている。国としては耐震改修を促進するという事で予算枠を確保しているようである。

山腰委員外議員

それなら壊すものを検査しても無駄だと思う。直すなら検査してもいいが、壊してしまうのに1,500万円かけて2億円もらう話だが、おかしい話だと思う。

委員長

ほかに何かあるか。(なし) (2)については報告済みとする。

2 その他について

委員長

事務局からあるか。(なし) 委員から何かあるか。(なし)

3 次回委員会の日程について

委員長

正副委員長に一任願えるか。(よし)

以上で第9回市立病院建替計画等調査特別委員会を閉会する。

閉 会 14:00